

# 《総合科学部》総合科学テーマ科目

・ディプロマ・ポリシーに特に強く関連するものは◎、関連するものは○を記入する。

科目名	ディプロマ・ポリシー	【1. 知能・理解】	【2. 汎用的技能】		【3. 態度・志向性】	【4. 統合的な学習態度と創造的思考力】	科目の教育目標
		自分の専門分野を中心に文化、社会と自然に関する幅広い知識や技能を習得し、それらの多様性を理解することができる。	(1)正しい日本語の運用能力、すなわち文章を論理的に書き、理解する能力、人とコミュニケーションする能力、プレゼンテーション能力を身につけている。	(2)国際共通語としての外国語の基本的運用能力とそれに基づく国際感覚を身につけている。	豊かな人間性、高い倫理観を身につけ、自分で問題を発見し、解決する態度を身につけている。	総合的な視点と知識を身につけ、現代社会のさまざまな問題を分析する能力と技能、情報発信能力を有し、地域社会の文化や生活環境の創造に貢献できる。	
総合科学テーマ科目	比較文化論	○	○	◎	◎	◎	国際的感覚を涵養し、総合的な文化研究を身につけること。
	地域交流史	◎		◎	○	◎	世界史を日本、アジア、ヨーロッパの各地域の交流を通じ、各地域の歴史が世界史を形成してゆく過程を理解し、将来歴史の教師となったときのテーマを理解し、日本及び世界の未来について生徒に考えさせる実力の獲得を授業の到達目標とする。
	日本経済と社会	○	◎		◎	◎	高度成長期に形成された日本経済の構造的な特質を理解できる。
	世界経済論I	◎		○		◎	国際的な経済関係は、その歴史的構造のもとでさまざまな問題点を生み出し、その問題点の理解や問題点への対処を巡ってさまざまな議論を引き起こしてきた。講義では、この歴史構造と議論にかかわる基本的論点の整理を行う。
	国際関係論I	◎		○		○	①国際社会の性質、特徴を理解すること。②平和と戦争をめぐる現代の諸問題について、基本的な事実関係、実態を知ること。③国際政治と国際法の基本について、考え方、原理、原則を把握すること。④「冷静な現実主義」と「高邁な理想主義」の両方を備えた発想ができること。⑤外向きの広い視野を持つこと。
	社会心理学	◎		○		○	人間の社会的行動に関する一般的知見とその近年の展開について理解する。
	運動文化論	◎	○		◎	◎	スポーツをはじめとする運動文化は、固有の身体技術、ルール、練習・競技・実演の様式と体系的知識、思想・論理、組織・制度を有しており、身体的競争・表現・コミュニケーションを介して、われわれ個々人の身体の発達と人格の形成、生活文化に貢献し、多くの人々の社会参加を促し、集団と社会の形成に積極的に寄与している社会現象である。この授業では、その成立過程や社会的機能について探究し、体験ワークショップで理解を深める。
	健康行動論	◎		○	◎	◎	健康の概念および現代社会で多発する健康問題を明らかにし、健康で安全な生活を送るために必要な知識と態度を養う。
	地域健康福祉論	◎	◎	◎	○		少子高齢化が進む日本社会において、医療費の増加に歯止めをかけ、高齢者のQOLを維持していくことは極めて重要・至難な社会的課題である。身の回りの家族、地域、社会の健康問題に関心をもち、その実態の理解と課題の解決法について考察する。さらに自らの体験を通して健康的なライフスタイルを実践できる資質を養う。
	グローバル社会論	◎	◎	◎	◎	◎	現代を生きる者は、どこに住もうがグローバル化の影響を免れることはできない。では、それはどのような影響であり、具体的に何が生じるのか。この授業の最大の目的はこうした問いに答えることにある。さらに、グローバル化は国民からなる国家体制を大きく変えつつある。では、国家はなぜどのように変化を迫られているのか。こうした問いに対して、大きくは身近な生活のグローバル化、環境のグローバル化、人の国際移動からみたグローバル化に焦点を当てて議論していく。
	地域創生論	◎		○	○	◎	持続可能な地域づくりの基礎理論を提示する。
	地域政策論I		◎		○	○	①国際化時代の地域経済と地域システムへの理解。②新たな時代における地域や環境の再生、産業づくりや地域づくりについて理解し考察できる能力を培う。
	地域文化論I	◎		◎	◎	◎	世界の諸民族の事例を通して人間の文化・社会の多様性と普遍性について考察し、異文化および自文化の構造や意味を客観的に理解するための視点を修得する。

総合科学テーマ科目

共生社会論	◎	○	◎	◎	現代社会で生じている医療をめぐる問題への理解を深めるとともに、それを自分の問題として考えるためのきっかけを得ること及び、地球社会の中で生じている小児医療や高齢者医療への理解を深めるとともに、受講者自らが情報収集を行い情報を主体的に発信できる力を養成する。	
メディア情報論		○	○	◎	◎	情報メディアにおける表現の歴史と現状を理解する。
芸術文化論	◎	○	◎	○	古代から現代までの様々な音律について、その歴史の変遷を学ぶ。また、音が調和した美しさが、どのような数の秩序によってもたらされているかを学ぶ。	
情報社会と情報倫理		○	○	◎	◎	現代社会における人、企業、物と「情報」との関係性について基本的な知識と諸問題の理解を深める。
情報と職業		◎	◎	◎	◎	情報社会におけるビジネス、職業に関する基礎知識を学び、職業観、就労・労働の意識の形成、キャリアデザインに役立つキーコンピテンシー、IoT活用能力を身につける。
情報の数理	◎			○		情報通信ネットワークに関する基礎知識と技術を習得させることを目的とする。
現象の数理	◎			○		自然現象や社会現象等について数理的な目を通して理解するための基本事項を解説する。また、それぞれの現象の背景にある基本的メカニズムを微分方程式を用いて記述し、現象の数学問題への定式化および意味づけを行う。さらに、数理モデルの妥当性や説明・予測・制御等の初等的な方法について理解を深める。
数学と社会	◎			○	◎	代数的構造についての基礎及びその様々な場における応用についての基礎に関する講義を行う。講義では代数構造の代表的な分野である代数的整数論と代数幾何学の初歩とその応用である暗号理論と符号理論の解説を行う。目標は群、環における準同型定理の理解、有限体の定義の理解、線形符号の定義とシンジケートの不等式の理解である。また公開鍵暗号系の仕組みと剰余類群の応用として、RSA暗号系を理解する。
資源エネルギー論	◎	◎	○	○	◎	資源とエネルギーの流れを理解し、現在世界で起こっている問題を解決するための提案ができるようになること。そのためにデータを正しく読むことができる。冷静な議論ができる。
環境マネジメント				○	○	個人のライフスタイルや企業の取り組みが、よい地域環境や地球環境を創造することにつながることを理解する。
環境倫理学	◎	◎		◎	○	人文科学(環境倫理学)に関わる幅広い知識の理解を目標とする。日本語で論理的な文章を書くことができる能力の養成を目標とする。高い倫理観の涵養を目標とする。
環境政策論I				○	◎	環境政策の体系的理解
総合科学実践プロジェクト	◎	◎	○	◎	◎	専門を異にする教員が、共通もしくは複数のテーマで受講生とともに授業を運営し、実践的で総合的な学習姿勢を体得する。授業を通して、文系、理系相互の視点からものを考え、企画・調査し、討論・発表によって総合科学の実践力を養う。
総合科学特別講義	○	◎		◎	◎	①諸科学と総合科学との関係が具体的に説明できる。②具体的な地域問題に対し、諸科学を編成して解決する計画を作成できる。③総合科学的な観点から、自分の意見が表明できる。
総合科学実践プロジェクト	◎	◎		◎	○	-自分の意見(感じた事や考えたこと)を自分の言葉で表現できる -自分たちで考えた企画をみんなで協力して実践することができる -スポーツの社会的機能(役割)について理解することができる
総合科学実践プロジェクト	◎	◎	○	◎	◎	専門を異にする教員が、共通もしくは複数のテーマで受講生とともに授業を運営し、実践的で総合的な学習姿勢を体得する。授業を通して、文系、理系相互の視点からものを考え、企画・調査し、討論・発表によって総合科学の実践力を養う。